

地域の方もぜひ足をお運びください！

中高生が Miacis の魅力を発信！

祝★Miacis 1周年

・『ミアキス文化祭』
10.09 11:00start
中高生主催の文化祭。歌、ダンス、バンド、飲食、フリーマーケットなど。

・『ミアキス 2年目 KICK OFF DAY』
10.15 10:00-19:00
一年間の軌跡とこれからの展望。市長と中高生の意見交換会も開催。

ミアキスマイル 10月号

10月9日、ミアキスは一周年を迎えます。地域のみならず、いつもご理解ご協力ありがとうございます。2年目もミアキスは中高生と共に進化し続けていきます。地域のみならずとの繋がりもより深いものにしていけたらと思いますので、今後ともよろしくおねがいします。

ミアキス文化祭

一周年の当日、ミアキスでは高校生主催の文化祭が開催されます。主催者の高校一年生二人の、このイベントにかける熱い想いをインタビューしてきました！

取材された人 ▼ 齊藤聖奈・佐藤杏
取材した人 ▼ 佐野飛鳥

飛：なぜ文化祭をしようと思ったんですか？

聖：去年先輩が主催した文化祭の当日の空気が一体感が忘れられなくて。参加者からも「またやりたい！」という声があったんです。

杏：人も沢山来てくれて、すごく良い雰囲気でした。事前の準備や情報共有をしっかりとすれば、更に良いものがつくれるのではないかなと思ったんです。

飛：今年は主催者として、やってみたいことはありますか？
杏：服が好きなので古着のフリーマーケットをみんなまでできたらいいなと思います。

聖：私はダンスが好きなので、専門でやっている人を呼んで、本格的なダンスを見たり教えてもらったりできたらいいなと思います。

飛：私も去年の文化祭でよさこい

デビューをして、すっかりハマってしまいました。

聖：そうやってこれを機に興味を持ってくれる子が現れたら嬉しすぎますね。自分を表現することの楽しさを知ってほしいんです。

杏：マイナーな趣味でも人前で表現していいんだよって。小さい子たちには自分がしたいことを形にすることへの憧れを持ってほしい。親世代には、色々な中高生がいるんだなって理解してほしいです。

飛：ミアキスができるまではどう自己表現していたんですか？

聖：全然できていませんでした。山梨はイベント自体が少ないし、自分たちで場所を借りてイベントを一からつくるのは、お金もかかるし難しかった。ミアキスという場ができたから実現出来るようになりまし。

杏：本当に有り難いなって思っています。やってみたいという気持ちの風船はどんどん膨らんでいて。それを破裂させることが出来る場ができて、「やりたいことは何でもやってみれば」って応援して力を貸してくれる大人もいて。全国にミアキスがあればいいの

って思っています。

聖：「こちら山梨本部です。」って

ね。(笑)

飛：実際に主催してみても苦労していることはありますか？

聖：出演者、出展者、運営担当を募集しているんですけど、人が集まらなくて胃に穴が開きそうです。

杏：広報の方法も自分たちで考えて試している。文章を考えていって発信したりポスターを貼ったりしているのですが、なかなか思い通りにはいかないものだなって。

飛：どうして大変でも頑張れるんですか？

聖：準備は大変でも当日が終わってみると、「楽しかった！」で全部吹っ飛びちゃうってわかっているんです。あと、当日をイメージしたりやりたいことを話し合ったりしているときは本当にワクワクできるんです。

杏：誰かが自分も主催してみようって思ってくれたら嬉しいんです。大変でも、楽しさは2倍になるから。今回のマニュアルをつくって、誰かのプロジェクトの参考にしてもらえたら嬉しいな。

飛：主催してみても学んだことってなんだと思いますか？

杏：口に出すことは大切だということ。昔から、「やりたいことは口に出せば叶う」と言われていて、

それって本当だったんだって思いました。

聖：私は参加者目線で考えることで、客観的に周りのことを考えられるようになったんじゃないかなって思います。

飛：ミアキスのテーマは「あなたは何に進化する？」ですが、この文化祭を通して二人はどう進化したんですか？

杏：社会的で積極的な性格になりたいです。

聖：将来芸能関係の仕事がしたいので、一歩でも夢に近付けたらいいなと思います。

飛：最後に、まちの人たちに向けて、メッセージをどうぞ。

二人：とにかく「来てください！」私たちはやる気に満ちています。来て後悔はさせません!!!

